

**各行事の  
ご案内**
**技術講習会** 2023年5月19日(金) 10:00～17:00

**テーマ：「環境負荷低減と脱炭素を目指した鑄造技術最前線」**

昨今における鑄物製造の課題のなかでも持続可能な鑄物づくりの目指す方向としてカーボンニュートラルや省エネルギー、環境負荷低減が求められています。これらの課題は単にCO<sub>2</sub>排出削減への対応のみならず、鑄造品の品質向上による歩留まり向上や副資材の効率的・効果的利用も含まれます。これらの技術は単一の技術にとどまらず鑄物製造プロセス全般において関係し合う複合的技術につながります。そこで、本技術講習会では持続可能な鑄物づくりを多面的に学ぶ機会として、鑄物づくりの立場から考えたカーボンニュートラル、溶解燃料、鑄造型の高度化、鑄物製造における省人化・省エネ化・適正品質化の視点から最新の取り組みや考え方についての講演を企画いたしました。これからの鑄造技術発展のための有意義な情報の場となることを期待し、多数の参加をお待ちしております。

【場 所】近畿大学 東大阪キャンパス BLOSSOM CAFÉ 3階 多目的ホール

【定 員】会場80名(定員になり次第締め切ります)

**【プログラム】**

10:00～10:10 開会のあいさつ 大会実行委員長 金本範彦

10:10～11:00 カーボンニュートラルと鑄造業 早稲田大学名誉教授 中江秀雄

11:00～11:50 カーボンニュートラルの状況とダイカスト技術への期待  
日本鑄造工学会 神戸洋史

——昼食休憩——

13:00～13:30 キュポラのカーボンフリー燃料部分転換 マツダ(株) 田中裕一

13:30～14:00 バイオコークスがキュポラ操業に与える影響と運用方法に関する検討  
(株)栗本鐵工所 太田 慧

14:00～14:30 鑄造型用バインダの技術進展による環境負荷低減  
群栄化学工業(株) 永井康弘

14:30～15:00 鑄造用砂型3Dプリンタを活用した省力化 (株)鶴見製作所 小川 学

休憩 15分

15:15～16:50 パネルディスカッション  
<話題提供> 押湯形状の開発と検査基準の適正化による歩留まり改善活動  
石川可鍛製鉄株式会社 生産技術部, 他検討中

16:50～17:00 閉会の挨拶 大会実行副委員長 浅野和典

**懇親会** 5月20日(土) 18:30～

大会を機に恒例の懇親会を開催いたします。多数のご参加をいただけますようご案内申し上げます。

【会 場】ホテルモントレ グラスミア大阪 (21F スノーベリー) (大阪府大阪市浪速区湊町1丁目2-3)

【交 通】近鉄「大阪難波」駅から徒歩約1分, 地下鉄御堂筋線「なんば」駅より徒歩5分。  
\* 当日講演会場から無料バスを運行します

【定 員】230名(定員になり次第締め切ります)

\* 当日受付は行いません。必ず事前申込をお願いいたします。